



インターネット事業部では女性スタッフを中心にサイトの更新や運営業務などを行っている

株式会社 三恵

世田谷区太子堂2-16-6
TEL:03-3413-6119
http://www.sangendyaya.co.jp

独自の視点が ネット通販を成功へと導く。

下着や靴下などを中心に販売している衣料品店「三恵」。地元三軒茶屋のお客さまからは「肌着は三恵」と親しまれています。そんな地元密着型の店舗が、ネット通販市場への参入を決めたのは2005年ごろ。「バブル崩壊後、単価が下落する中、次の手を模索していました。そんなとき、たまたま参加した業界向けセミナーで聞いた話をきっかけにネット通販をスタートさせ



三軒茶屋ふれあい広場で開催されているぐるり瀬戸内コラボフェスタ



代表取締役の飯島祥夫さん

ました」と代表取締役の飯島祥夫さんは当時を振り返ります。ネット通販では取扱商品を20代～30代の女性用下着に絞り込んで展開。カテゴリーを細分化し、よりニッチな市場でシェアを獲得していく手法で売上を拡大。今ではネット通販は月商1億円を超すまでになり、同社の全体売上の約7割を占めるほどに成長しています。

また、三軒茶屋銀座商店街振興組合の理事長としての顔も持つ飯島さん。昨年9月より、商店街のイベントとして「ぐるり瀬戸内コラボフェスタ」を始めました。デパートの物産展ではあまり取り上げられない瀬戸内に目をつけた物産展が評判を呼び、毎回大盛況となっています。着目点のユニークさと行動力でビジネスを次々と成功へ導く飯島さん。三恵のネット通販の新たなターゲットはアメリカ市場とのこと。今後の展開に目が離せません。

産業 バックアップ



世田谷区の産業を 力強く支援



支部長の山口欧太郎さん

新たなスタイルへと 形を変える世田谷の銭湯。

東京都公衆浴場業生活衛生同業組合世田谷支部（世田谷浴場組合）は昭和32年に設立された公衆浴場、いわゆる銭湯の経営者組織。銭湯施設の改善向上や経営の安定化を目的に活動しています。設立当時130軒あった銭湯も現在では30軒に減少。世田谷浴場組合では、都市型の新たな銭湯のスタイルを模索することで、銭湯の活性化を図っています。その取り組みのひとつが「世田谷湯屋めぐり」。8月1日～10月31日の3ヵ月間をかけて行うスタンプラリーで、期間中に30軒の銭湯の内6軒を巡ってスタンプを集めると、オリジナルのTシャツやトートバッグが当たるといったもの。今回は1,000名を超える方がスタンプラリーに参加。好評につき今回は先着2,000名様にプレゼントと規模を拡大して展開しています。

お子さんがアミューズメントとして楽しんだり、一人暮らしの高齢者がお互いの健康状態を確認する場として利用したり、地域社会の中で新たな側面を持ち始めた銭湯。たまには銭湯に行って、裸の付き合いを楽しんでみてはいかがでしょうか？

東京都公衆浴場業 生活衛生同業組合世田谷支部

世田谷区玉川台2-1-16
TEL:03-3709-1678



世田谷湯屋めぐりのプレゼント賞品。オリジナルTシャツやトートバッグが先着2000名様に当たる

SETAGAYA NEW POWER!

世田谷区で 働き始めた新人の 奮闘ぶりをご紹介



平山博貴さん

株式会社ユー・花園 業務部第1課
2011年4月入社

花を使った空間装飾の 技術を高めていきたいです。

「出身校は東京農大で、造園科学学科を専攻していました。事務職よりも、体を動かしたり、自分で何かを作ることができるような技術職が自分には向いていると思い、「ユー・花園」への入社を決めました。

担当している業務は、葬儀での生花祭壇の演出になります。葬儀社様からご用命を受け、綿密な打合せを行い、コンセプトを決め、花による祭壇装飾のイメージを固めていきます。故人様を送る最後の演出を手がけるということはとても責任重大ですし、同時に、やりがいも強く感じます。ご喪家様より「きれいな花をありがとう」とお褒めの言葉をいただくと、この仕事に就いてよかったなと思います。

業務の特性上、それぞれの現場に合せたスケジュールとなる為、内容によっては、時間を忘れて業務に集中してしまうこともあります。1日も早くより高い技術を身につけ、後輩のよい手本となるようなビジネスパーソンになっていきたいと思います。」(平山博貴さん)



株式会社ユー・花園

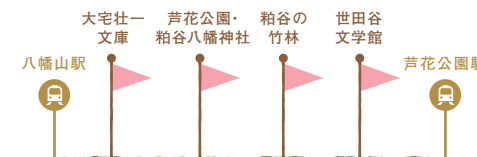
桜新町2-12-22
TEL:03-3706-8701

花の流通、販売、デザイン、装飾までを一貫して行う、花の総合サービス企業。「花のもたらす喜びを世界中に伝えられる集団になろう」というビジョンのもと業務を行っています。



世田谷めぐり

読書の秋、文学が香る世田谷を歩いてみませんか？



大宅壮一文庫

評論家、大宅壮一が生前集めた膨大な雑誌コレクションをもとに作られた日本で最初の雑誌専門図書館。



芦花公園・粕谷ハ幡神社

一般的に芦花公園と呼ばれていますが、正式名称は蘆花恒春園（ろかこうしゅんえん）。明治・大正期の文豪、徳富蘆花の旧宅が東京都に寄贈され公園となりました。そのすぐ隣にあるのが粕谷八幡神社です。



①芦花公園にある、蘆花が執筆活動を行っていた旧宅。
②粕谷八幡神社の境内。蘆花はこの神社の氏子で、祭りに奉納したという記録が残っています。

粕谷の竹林

芦花公園の北側には多くの竹林を見ることができます。中には世田谷百景に指定されている竹林も。



←竹林エリアから西に少し歩いたところにある和菓子屋「万寿越」の銘菓「羽衣」。餅を1ミリにも満たない薄さに削り、手焼きで仕上げた逸品。霜柱を踏んだときの食感が味わえます。
万寿越(粕谷4-16-9)

世田谷文学館

世田谷にちなんだ企画展示を年に数回実施。また、世田谷ゆかりの書物を中心に約8万点を所蔵するライブラリーもあります。



さまざまなまちあるきを楽しむモデルコースなど区内の身近な魅力満載のアプリ「世田谷ぶらっと」をぜひダウンロード(無料)してください!



〈発行〉

東京商工会議所世田谷支部

TEL:03-3413-1461 FAX:03-3413-1465
URL : http://www.tokyo-cci.or.jp/setagaya

公益財団法人世田谷区産業振興公社

TEL:03-3411-6602 FAX:03-3412-2340
URL : http://www.setagaya-icl.or.jp

世田谷区産業政策部

TEL:03-3411-6652 FAX:03-3411-6635
URL : http://www.city.setagaya.lg.jp